

経営比較分析表（令和4年度決算）

山形県 庄内町

業務名	業種・事業名	管理者の情報	自己資本構成比率（％）
法非適用	電気事業	非設置	該当数値なし
水力発電所数	ごみ発電所数	風力発電所数	太陽光発電所数
-	-	1	-
その他発電所数	料金契約終了年月日	F I T・F I P適用終了年月日	電力小売事業実施の有無
-	令和4年7月31日 庄内町営風力発電所	令和4年7月31日 庄内町営風力発電所	無
売電先	地産地消の見える化率（％）※1		
東北電力株式会社、株式会社UPDATER	-		

※1 行政区域内の需要家に小売されたことが客観的に明らかであるものを計上。なお、この基本情報をもって全ての地産地消エネルギーへの取り組みを評価するものではない。

年間発電電力量（MWh）	H30	R01	R02	R03	R04
水力発電	-	-	-	-	-
ごみ発電	-	-	-	-	-
風力発電	1,793	2,753	2,340	2,365	1,691
太陽光発電	-	-	-	-	-
合計	1,793	2,753	2,340	2,365	1,691

	F I T・F I P以外	F I T・F I P	合計
年間電灯電力量収入（千円）	10,385	15,436	25,821

剰余金の使途について（具体的な使用実績事業を記入してください）

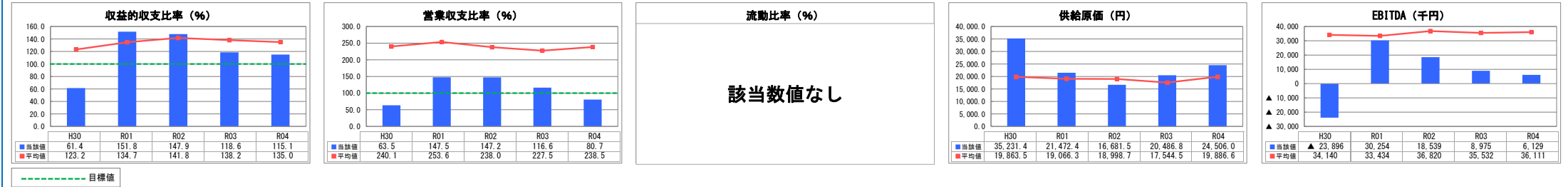
基金への積立の有無…有
目的：風力発電基金への繰入れ 2,659千円
一般会計への繰出しの有無…無
その他の有無…有
目的：翌年度へ繰り越し 15,026千円
電気事業により生じた利益は、将来の施設修繕に充てるための風力発電基金に積み立てることを基本としている。風力発電設備撤去（事業終了）後に使途について検討していく。

分析欄

1. 経営の状況について

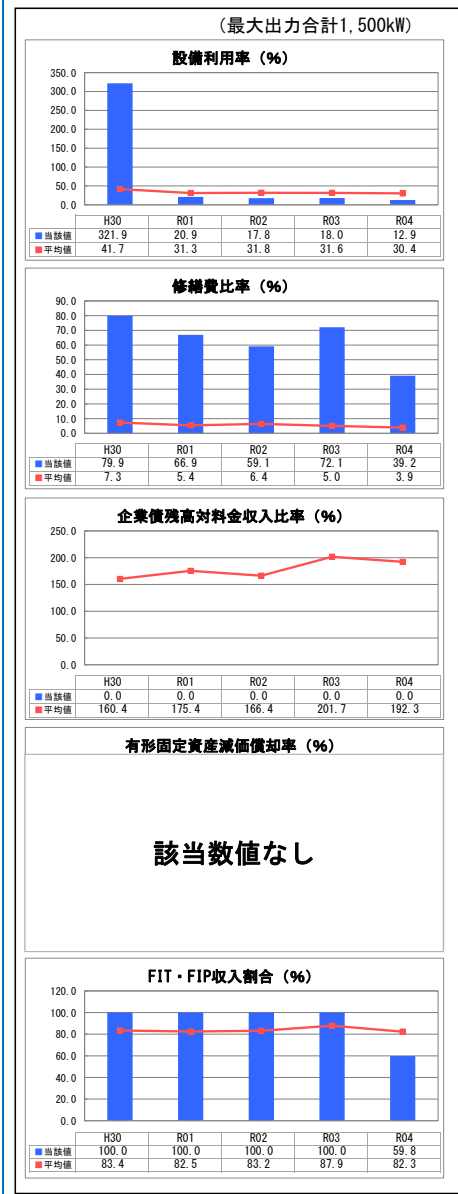
令和4年度は、収益的収支比率は100%を上回っているが、営業収支比率については80.7%と100%を下回った。要因としては、令和4年7月末でFIT制度適用の満了したことによる売電収入の減と経年劣化による故障が発生し3ヶ月程発電停止したことによるものである。今後も、経年劣化による不具合に対しての修繕費用が高むと想定される。

1. 経営の状況

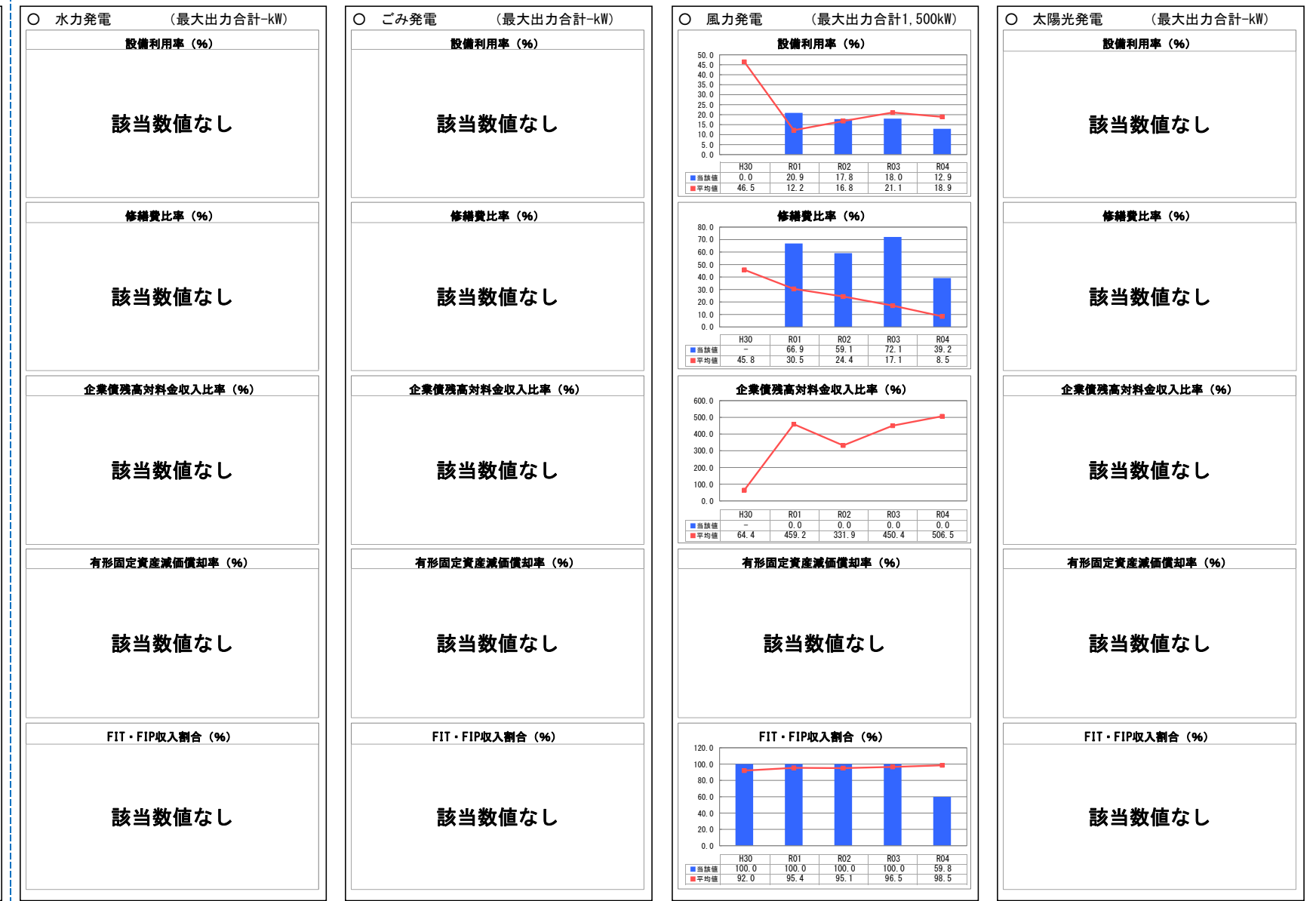


2. 経営のリスク

●施設全体



●発電型式別



2. 経営のリスクについて

経年劣化による故障が多く、修繕費比率が39.2%と平均値に比較して高い水準にある。このことも踏まえ、発電事業の終了を予定している。今後は日常の細やかなメンテナンスを進め、故障の低減に努めることでリスクの回避を図っていくこととしているが、事業終了に向け令和5年度から令和6年度にかけて発電設備の撤去を実施する。

全体総括

経年劣化による設備機器等の故障により長期稼働停止も想定されることから、発電設備の撤去及び発電事業の廃止を決定した。また、発電設備撤去までは、日常の細やかなメンテナンスを進め、故障の低減に努めていくこととしている。

※ 平成30年度から令和4年度における各指標の全国平均値は、当時の団体数を基に算出していますが、設備利用率及び修繕費比率、企業債務高対料金収入比率、FIT・FIP収入割合については、令和4年度の団体数を基に平均値を算出しています。